

令和6年度えひめ子どもの体力向上プラン

【本県の目標】学校体育の質の保証・向上 ～体育的活動を充実し、全国平均以上の体力を維持～

【成果指標】全国体力・運動能力等調査における、体力合計点の県平均が全国平均以上である。

《えひめの子ども像》〔愛顔（えがお）いっぱい子ども〕

- ◆運動に前向きになる（体育・保健体育科の授業）
 - ・体育の授業は「楽しい・やや楽しい」の児童・生徒の割合……95%
- ◆体力向上を目指す（自己への挑戦）
 - ・体力の向上について自分なりの目標を立てている児童・生徒の割合……80%
- ◆日常的に運動に取り組む（運動習慣）
 - ・1日の運動時間 60分以上の児童・生徒の割合……50%（小）、80%（中）
※体育・保健体育科の授業は除く
- ◆規則正しい生活習慣をもつ（生活習慣）
 - ・毎日朝食を食べる、睡眠時間が確保されている児童・生徒の割合・・・80%



【※各指標の数値以上を目指します。】

【具体的方策】

1 体育・保健体育科の授業の充実

- (1) 校内研修、授業づくり研修会等への参加による授業力の向上
- (2) ACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)の活用
- (3) 授業での主運動につながるウォームアップ及び柔軟性を高める取組の工夫



柔軟性アップの工夫



ACPの活用

2 体力向上を目指し自己への挑戦

- (1) 「R6年度体力アップ推進計画」の策定及び現状把握
 - ① 学校・地域の特性を生かした体力アップ推進計画の作成と実践（各校の重点課題について指標・目標数値を示し、目標達成に向けたプランを1つ以上実践する。）
【体力向上1校1プラン大作戦】
 - ② 中間期測定の推進と児童生徒の目標の設定
- (2) 授業以外で運動する「場」の設定、休み時間を活用した体力づくりの活性化
- (3) 「えひめ愛顔(えがお)のトレーニング」など、動画配信による家庭で取り組むことができる運動の活用



えひめ愛顔のトレーニング



特色ある取組
毎日だれでも握力測定

3 運動習慣の定着（運動の日常化）

- (1) 「えひめ子どもスポーツITスタジアム」への小学校の積極的参加（エブリディススポーツを実践する場の工夫）
- (2) 児童生徒が夢中になる学校行事・体育的活動の推進
- (3) 苦手意識が強く、運動に親しむ機会の少ない児童生徒への支援
- (4) 1人1台端末やCBTシステム等によるデータ利活用の取組



チャレンジ部門
職員研修



ポイント獲得部門
(エブリディススポーツ)

4 生活習慣の質の向上

- (1) 食育、生活習慣について全教職員が共通理解を図った指導実践（学校の教育活動全体を通して）
- (2) 栄養教諭・養護教諭・外部講師等の授業参画
- (3) 家庭への啓発活動の充実（毎日朝食を摂る、睡眠時間の確保を中心に）



親子食育啓発活動



外部講師との連携